



# 学校だより

令和6年9月30日発行

立川市立若葉台小学校 校長 松村 利一  
〒190-0001 立川市若葉町 1-13-1  
TEL 042-536-3971 FAX 042-534-6943  
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>

## 分かりやすい 楽しい授業を目指して

校長 松村 利一

2学期が始まり1か月が過ぎました。教室を回って児童の学習の様子を見たり支援していたりしていると、友達と協力し合いながら一生懸命に学習に取り組んでいる子ども達の姿を見ることができます。そんな子ども達、そして先生達の学習を支える新しいツール(道具)が各教室に1つ加わりました。電子黒板です。

電子黒板とは、書いた文字や図形などを電子的に変換できるもので、従来の黒板では不可能だったさまざまなことが可能になります。パソコンの画面、たとえば資料や写真などをそのまま電子黒板に映し出すことができますし(デジタル教科書として教科書も)、それらに指やペンツールで自在に文字やマークを描くことができます。



(もちろん消すことも)また、電子黒板上に書き込んだものをデータとして保存しておくことも、後で呼び出すこともできます。

この新しい ICT 機器を効果的に使えるようになるために、先生方はすでに実践している学校に学びに行ったり、夏休み中に校内で講師の方を招いた勉強会を開いたりしてきました。そして、子ども達にとって分かりやすく楽しい授業を目指して、電子黒板を積極的に活用しています。

### 【電子黒板活用のメリット】

- ① 視覚に訴えた説明ができ、児童にとって分かりやすい
- ② 協働的な学びを実践しやすい

児童のタブレットと接続することで、児童同士や児童と先生が意見を共有したり共同で作業をしたりできる

- ③ 授業の効率化が図れ、時間を有効に使える

先生が資料を配布したり板書したりする時間が省けたり、前の時間のデータを再利用したりすることができる



クラス全員の意見が電子黒板に映し出されています。手を挙げた数名の児童だけでなく、全員の意見が共有されることで、意見交換が活発になり、まさに児童一人一人の考えを大切にしたい授業づくりが実現できます。

子ども達の視線を集め、学習への関心も高める効果も考えられます。今後も、より効果的な活用を考えていきたいと思えます。

